

# 2017 Wako's

## Super Kart Race Report

開催コース / 筑波サーキット (茨城県)  
主催 / 日本スーパーカート協会  
開催日 / 7月8日 (土) 天候 / 晴れ  
路面状況 / ドライ



### WAKO'S

## スーパーカートカップ第5戦

**国**内最高峰のレースと名高いスーパーフォーミュラの予選日に開催されたシリーズ第5戦。

今回はシリーズ唯一のスタンディングスタート方式となり、これを楽しみにしてきた選手も多い。

エントリーは40台を集め、スタート前には富士の広大なホームストレートを埋め尽くす勢いとなった。

各車、一斉にスタートを決めて始まった決勝レースだが、オープニングラップ最終コーナーで多重クラッシュが発生し、コース内にパーツが散乱したことで赤旗中断。レースは仕切り直しとなる。

再レースは2周減算のセーフティカースタートで行われ、SK1が吉野義弘、SK2 藤本章二、SK4は常盤秀樹がクラストップを飾った。



① SK1 優勝、総合でも余裕のリードを築いてトップでチェッカーを受けた吉野義弘。意外にもスタンディングスタートは苦手だと言う ② SK2では藤本章二が圧倒的なパフォーマンスを発揮しての単独勝利。ベストラップも唯一の58秒台となる1分58秒672をマークした ③ 激しいトップ争いとなったSK4クラスでは、上位クラスのスリップを上手く活用するクレバーな走りを見せた常盤秀樹が今季初のクラス優勝をゲットした

# 2017 文部科学大臣杯 JAPANKART CUP with HDX

開催コース/富士スピードウェイサーキット (静岡県)  
主催/日本スーパーカート協会  
開催日/7月9日  
天候/晴れ 路面状況/ドライ  
Report&Photo//月刊 JAPAN KART



◀ WR250 クラス、ウォーズマンレーシングが総合優勝。ドライバーは東島&荒井ペア。コースの特性上、ほぼ休む場所が無いため、相当にハードだったが、最高の笑顔でフィニッシュを決めた



▲ スポーツカートクラスのSK Enji に参戦した日産横浜自動車大生。前回はリタイヤとなるが今回はしっかりと完走し、雪辱を果たした



▲ HDX-KT100 クラスに参戦の山特。紅一点の石川世良 (せな) は昨年からのカート始めたばかりの選手だ

▼ YZ85 の Yamakou Racing がクラス優勝 & 総合 2 位に入る



▲ 終始、ノットラブル。安定した走りを見せてのトップチェッカーを受けたウォーズマンレーシング



**今**年も JK カップ第3戦は富士スピードウェイ・ショートサーキットが舞台の特別戦だ。通常の倍、2時間をかけてとにかく走って走って走り倒すというサマーフェスティバルとなっている。

エントリーしてきたのはレギュラー組からニューフェイスまで12チーム。みな、まずは過酷な暑さを克服し、そして無事に完走を目指すことを目標にしていたようだった。

決勝は気温は高いが風があり、そこまで過酷な暑さではない。しかし、ハードな走りに徹する選手たちは滝汗を流しながらの汗だく走行となっていた。総合トップはWR250クラスのウォーズマンレーシングで185周という突出した周回数を重ねた末でのチェッカーを受けた。

ドライバーの2人は「1人30分のスティントで2回ずつ走りましたが、首が限界で鼻血が出そうです。疲れたけど楽しかった」とコメント。

ハイパワーなWR250だけに、ほぼ全開走行となるため、予想以上にハードレースとなったようだ。